

豊中版子育て安心プラン【中間見直し】（概要）

平成 31 年（2019 年）2 月（令和 2 年（2020 年）2 月）

【 ① 保育定員の確保 】

これまでの取組み・課題

- ・平成 27 年度(2015 年度)～29 年度(2017 年度)、計画を上回る約 2000 人の保育定員を確保
⇒平成 30・31 年(2018・2019 年)4 月の待機児童ゼロ
- ・しかし、保育所等申込者の推移、幼児教育・保育無償化の動きなどから保育需要のさらなる伸びが予測される

目標

- ・女性の活躍・就業率の向上を図るため、待機児童ゼロを維持し子育てしやすい環境を整備します

取組み項目

- ・令和 2 年度(2020 年度)～令和 6 年度(2024 年度)で拡充する保育の量 約 1,000 人分（※第 2 期こどもすこやか育みプランの目標量に合わせ見直し）
- ・保育定員確保緊急対策事業(保育所等の受け入れ枠拡充、私立幼稚園預かり保育充実等)の実施（令和 2 年(2020 年)4 月～）
- ・新規整備・増設、私立幼稚園の認定こども園化
- ・緊急対策として北部一時保育事業の実施（平成 31 年(2019 年)4 月～）

「子どもの夢 実現プロジェクト」の取組みとして、就学前の子どもたちの教育保育の量・質共に保障するとともに、子育て家庭の支援を充実することで、子ども・若者が夢や希望をもてるまちづくりをめざします。



“豊中版子育て安心プラン” (平成 30 年度(2018 年度)～令和 4 年度(2022 年度))

「豊中版子育て安心プラン」は下記目的のため、国の施策と連動し①～④のメニューを展開します。

目的

すべての子どもが健やかに育まれる環境づくりを推進！
女性の就労環境整備や、就労の有無にかかわらず、
すべての家庭が安心して子育てができる環境づくりを推進！

【 ② 幼児教育・保育の無償化 】

これまでの取組み・課題

- ・保育料負担軽減
→国基準の約 75%に軽減、ひとり親・多子世帯などへの負担軽減を国に先行し実施
- ・すべての子どもに対する質の高い幼児教育や必要な保育の保障
- ・保育士確保も含めた市独自施策の実施に向けた検討

目標

- ・すべての子どもに質の高い幼児教育・保育を保障するとともに、子育てのセーフティネット機能を果たします

取組み項目

- ・令和元年(2019 年)10 月から幼児教育・保育の無償化に対応
- ・市独自施策（ひとり親家庭等負担軽減）の継続

【 ③ 就学前教育・保育の質の確保 】

これまでの取組み・課題

- ・適切な指導監査の実施、保育士・保育所支援センターの設置による保育者の確保、様々な形態の教育・保育施設の保育者による「教育保育環境ガイドライン」づくり

目標

- ・すべての子どもが質の高い幼児教育・保育を受けるしくみを充実します

取組み項目

- ・幼児教育サポートセンターの設置
- ・教育保育環境ガイドライン（豊中独自基準）の活用
- ・公立こども園の戦略的再整備
→「夢・はぐくむ」公立こども園整備計画の具体化・公立こども園の 4 つの機能の充実
- ・透明性の確保 →園評価の公表
- ・保育人材の確保 →とよなか保育士応援手当・とよなか保育士歓迎一時金の実施
- ・保育者処遇改善制度の効果的な活用

【 ④ 多様な子育てニーズへの対応 】

これまでの取組み・課題

- ・多様な子育てニーズに対し、身近な場所でのきめ細かな相談援助
- ・子育て中の親子の仲間づくりを進める交流の場の提供
- ・休日や夜間の保育・一時預かりのニーズの把握・検討
- ・障害や発達に課題のある子ども（医療的ケア児を含む）が、地域で安心して成長できる総合的かつ一貫した支援の提供

目標

- ・だれもが、どんな時でも、地域で支えあって子育てができる環境づくりの充実を図ります

取組み項目

- ・地域子育て支援センターを中心とした家庭支援の充実(令和 2 年度(2020 年度)～保護者支援を拡充)
- ・北部に親子の交流ひろば・一時保育オープン（平成 31 年(2019 年)4 月）
- ・児童発達支援センターオープン（平成 31 年(2019 年)4 月）(令和 2 年度(2020 年度)～保護者支援を拡充)
- ・子育て支援コーディネーター（利用者支援）出張相談の充実
- ・子育ての喜び・楽しさの発信強化（とよなかイクボスの推進など）



NEW

NEW

NEW

NEW

NEW